



イラストを描く児童

町内小学生がTシャツアート展のTシャツ作り

町内の小学校では毎年、「Tシャツアート展」へ応募するためのTシャツ作成を3年生時に行い、4年生時に実際に飾られた光景を見るという取組が行われています。

2月26日(月)には、入野小学校で3年生の児童らにNPO砂浜美術館の塩崎草太さんから「砂浜美術館」についての説明が行われ、27日(火)には、Tシャツにプリントする絵の制作を行いました。

同小児童らは、「筆を持って描くところが難しかった」、「字が上手に書けて楽しかった」と話しました。

3年生が作成したイラストは、今年5月に開催されるTシャツアート展で展示されます。



開会あいさつをする秋澤会長

第10回黒潮ふれあい交歓会

大方ライオンズクラブ主催「第10回黒潮ふれあい交歓会」が2月10日(土)、ふるさと総合センターを会場に開かれ、約60人が参加しました。

同会は、新型コロナウイルス感染症の影響で4年振りの開催。コロナ禍で薄くなった人とのつながりをもう一度結び直し、地域活性化につなげようと開催されました。主催者を代表して秋澤俊史会長から話があった後、平和ポスターの優秀作品の表彰などが行われました。

参加した黒潮若手の会の浜村真也会長は、「いろいろな分野で思いを持って動いている方が集まっていて、張り合いが出た。皆さんと町を盛り上げていけたら」と話しました。



レースをする子どもたち

バイフェス2024in入野松原

2月4日(日)、大方高校が主催し、「バイフェス2024in入野松原」が開催されました。雨天の影響で規模を縮小し、ストライダーレースのみが行われ、8名の子どもたちが参加しました。

レースでは、3歳以下の子どもは150mのコースを1周、4～5歳の子どもは同じコースを2周走行。1人2回レースを行い、合計タイムを競いました。

2位入賞の武田椋翔さんは、「楽しかった。草があって走るのが難しかった」と話し、同部の池田美輝さんと清水琴真知さんは、「子どもたちが楽しそうに乗る姿が見られて嬉しかった。今後は松原を使ったサイクリングイベントも行っていきたい」と話しました。

※「ストライダー」とは、ペダルやブレーキがなく、足で地面を蹴って走らせる幼児向け自転車。



調理の様子

南郷小学校で調理実習

2月29日(木)、南郷小学校で調理実習を行いました。食生活改善推進員(食改)さんに教わりながら、キュウリの酢の物、魚のフリッターなどの揚げ物を作りました。調理の前に、地産地消について学び、実際に高知県や黒潮町の食材を使って調理しました。初めて行う作業もありましたが、みんなで分担して安全に楽しく調理できました。

児童らは、「天ぷらを揚げるときに触りすぎたり、キュウ리를厚く切ってしまったので、家で作るときは気を付けたい」などと話し、食改さんからは、「子どもたちが積極的に動いてくれて、助けてもらった。みんなが完食しておかわりまでしてくれて嬉しかった」と話しました。